

現在、「弥生が丘」の人口は3200人余、世帯数は1200世帯余であり、新都市の中や周辺には公園・緑地も配し、人と自然・技術・文化のふれあう人間交流都市を目指しています。

鳥栖北部丘陵新都市のある鳥栖市、基山町は、佐賀県東部に位置し、高速道路、国道、JRといった広域交通網のクロスポイントにあたり、九州全県へのアクセスに優れた利便性をもつ地域です。鳥栖北部丘陵新都市は、鳥栖市・基山町の既成市街地を補完し、新たな地域開発の拠点となる新都市を整備するため、平成2年度から事業に着手し、平成15年度に事業完了し、宅地分譲を進めています。事業地区のうち、鳥栖地区「弥生が丘」は面積約210ha、東側にはJR鹿児島本線弥生が丘駅が設けられ、交通アクセスに優れています。東側エリアは独立住宅を中心に、沿道店舗、医療福祉施設等が立地しています。平成20年度には、新都市展望の「弥生が丘小学校」が開校予定です。西側エリアは、流通系・工業系用地となっているほか、九州で初めての先端技術施設「佐賀県シンクロトン光応用研究施設」も立地しております。更に有名ブランドの大型アウトレット店である「鳥栖プレミアム・アウトレット」があり、九州・山口各地から来店しています。

広域位置図



事業の内容

所在地 佐賀県鳥栖市・三養基郡基山町（鳥栖市中心市街地から北へ約3km）
計画面積 約250ha
計画人口 約7,000人
市街地開発事業等の種類 土地区画整理事業（鳥栖地区）及び一般宅地造成事業（基山地区）
分譲 産業用地は平成6年10月から分譲開始
住宅用地は平成10年10月から分譲開始
主な施設 佐賀県シンクロトン光応用研究施設、鳥栖プレミアム・アウトレット、総合公園
主要交通基盤 JR鹿児島本線弥生が丘駅
九州横断自動車道 鳥栖IC
九州自動車道（鳥栖JCT）
照会先 UR都市機構 鳥栖都市開発事務所 総務分譲課 tel.0942-85-1855

航空写真（H18.4撮影）



人と自然・技術・文化のふれあう人間交流都市 鳥栖北部丘陵新都市

佐賀

土地利用計画図



佐賀県シンクロトン光応用研究施設

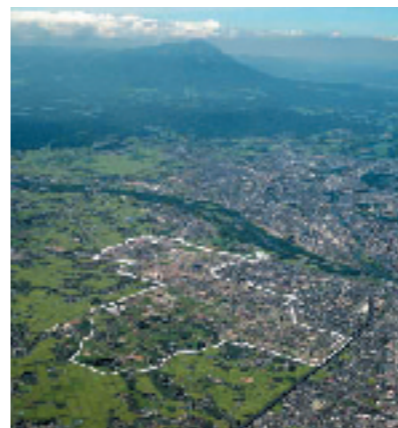
広域位置図



事業の内容

所在地 岩手県盛岡市
計画面積 約320ha
計画人口 18,000人
市街地開発事業等の種類 土地区画整理事業
分譲 施設用地は平成11年3月から分譲開始
住宅用地は平成14年8月から分譲開始
主な施設 岩手県工業技術センター、岩手県環境保健研究センター、盛岡市アイスアリーナ、市立病院、盛岡市立総合プール、イオン盛岡南ショッピングセンター
主要交通基盤 東北自動車道（盛岡IC、盛岡南IC）
照会先 UR都市機構 岩手都市開発事務所 事業計画課 tel.019-636-1511
岩手県 県土整備部 都市計画課 tel.019-651-3111
盛岡市 都市整備部 盛岡南整備課 tel.019-651-4111

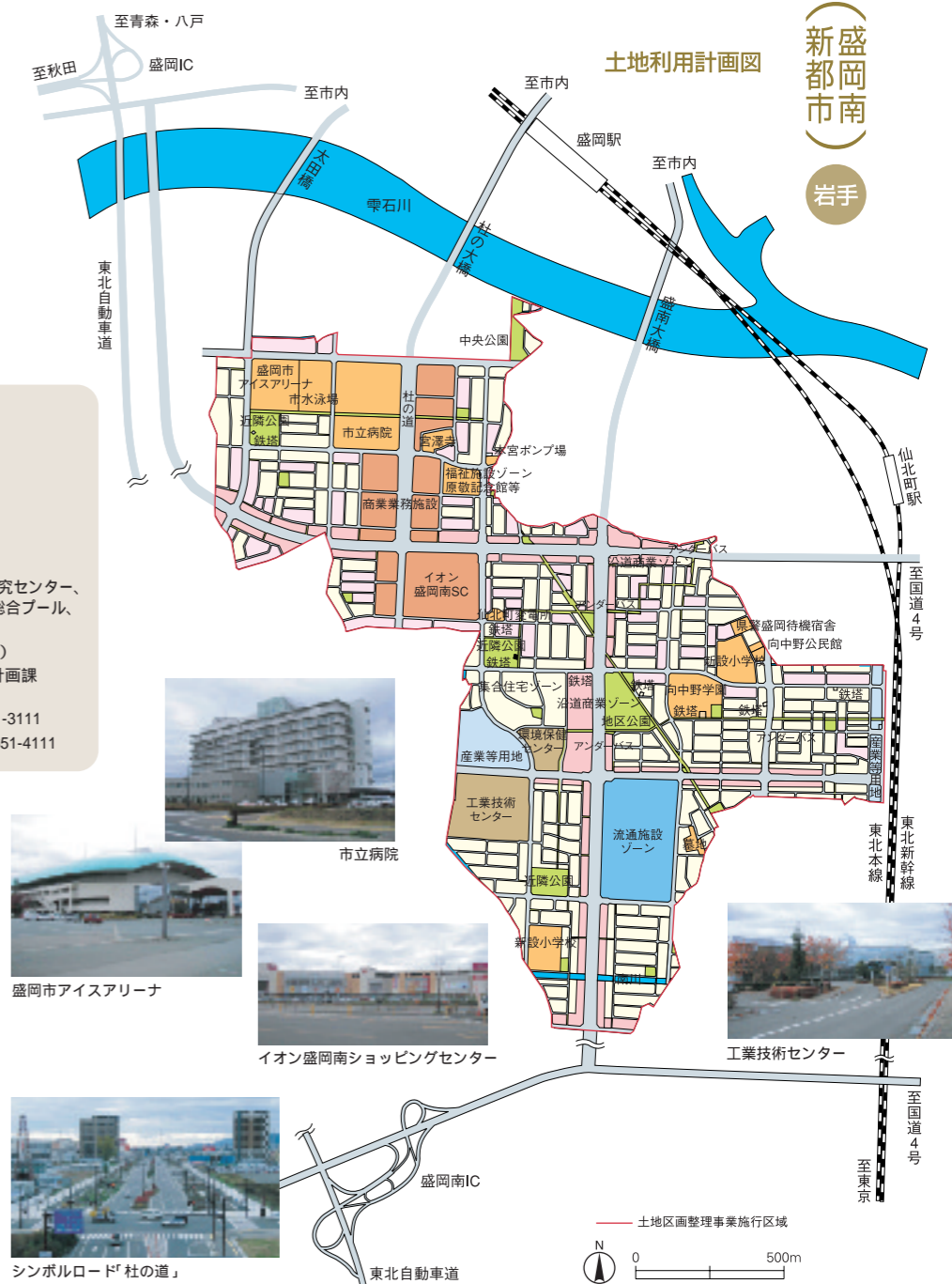
航空写真（H19.8撮影）



「ゆいとぴあ盛南」とは、平成14年に公募された愛称で、「結い」という共同すること（共同体）と、「ユートピア」の組み合わせであり、みんなが協力して盛南につくる理想郷を意味しています。

岩手県盛岡市の市街地中心部から南3kmに位置し、東北自動車道盛岡ICと盛岡南ICを結び国道バイパスが地区を貫く面積約320haの規模です。現在の盛岡市都心部と駅西地区、盛岡南地区に新たな都心軸を構築する盛岡市の「軸状都心構想」に基づき、盛岡南地区に高次の都市機能を集積した商業・業務、行政、医療、教育・文化等の複合的な都市機能を導入し、軸状都心の核となる新都市の形成を図るものです。

平成6年に土地区画整理事業として着手し、計画人口は1万8千人、平成25年度に事業完了の予定で進めています。事業進捗率は約8割（平成18年度末）、居住人口は7334人（平成19年9月末現在）で、ここ数年は年間700人を超えて増加しています。また、借景に地域のシンボルである岩手山を望み、盛岡駅にも近い好立地条件を生かした、新しい街が売りとなっていて、平成18年9月にシヨッピングセンターがオープン、平成18年11月に地区のシンボルロードである「杜の道」(幅員60m)が開通するなど、着々と新しいまちながみ形成され、街の骨格が見えてきています。



シンボルロード「杜の道」

人が輝く「結い」のまちづくり ゆいとぴあ盛南

（盛岡南）
新都市

岩手